

2013年2月期 決算説明会

イオンディライト株式会社

代表取締役社長 中山 一平

2013年4月10日



目次

§ 1 2013年2月期 業績報告

§ 2 2014年2月期 主な取り組み

§ 3 参考資料

§ 1 2013年2月期 業績報告

§ 2 2014年2月期 主な取り組み

§ 3 参考資料

3

Copyright ©2012 ÆON DELIGHT Co., Ltd. All Rights Reserved.



ÆON delight



業績について

過去最高益を達成

1. 売上高は3期連続増収 前年比**113.2%**
2. 営業・経常・当期純利益は**9期連続増益**

単位:百万円

	2013年2月期実績			
	実績数値	売上比 (%)	前年比 (%)	前年差
売上高	248,876	100.0	113.2	+29,078
売上総利益	30,227	12.1	105.5	+1,596
営業利益	13,901	5.6	101.0	+138
経常利益	13,892	5.6	100.8	+108
当期純利益	7,509	3.0	108.6	+596

年間配当金 40円⇒46円へ増配

4

Copyright ©2012 ÆON DELIGHT Co., Ltd. All Rights Reserved.



ÆON delight



セグメント別評価(売上高)

建設施工事業、前年比**186.1%**

サポート事業、前年比**135.6%**

単位:百万円

	2013年2月期実績			2012年2月期	
	売上高	構成比 (%)	前年比 (%)	売上高	構成比 (%)
設備管理事業	42,050	16.9	99.8	42,147	19.2
清掃事業	40,519	16.3	101.7	39,852	18.1
警備事業	31,805	12.8	98.7	32,235	14.7
建設施工事業	53,071	21.3	186.1	28,513	13.0
資材関連事業	39,284	15.8	107.0	36,730	16.7
自動販売機事業	31,200	12.5	96.7	32,280	14.7
サポート事業	10,823	4.3	135.6	7,980	3.6

2012年2月期



2013年2月期



5

Copyright ©2012 AEON DELIGHT Co., Ltd. All Rights Reserved.



AEON delight



2013年2月期の主な活動について

① 環境事業の更なる推進

LED拡販、BEMSアグリゲータに採択、独自の環境商材やEV充電器の開発

② 中国・アセアンにおける総合FMS事業の拡大

(中国) エリア戦略の推進による事業拡大・・・新会社設立(天津、蘇州)

(アセアン) マレーシア 2012年12月事業開始

ベトナム 2013年1月事業開始

③ M&Aによる新規サービス拡充

(BPO事業構築に向けて)

2012年10月 (株)ジェネラル・サービシーズ(GSI)子会社化

2012年10月 中国(杭州)に営業拠点となる新会社設立

(BTM分野強化へ向けて)

2012年10月 イオンコンパス(株)子会社化

④ BtoBtoC市場への参入

(マンション管理)

2012年12月 Aライフサポート(株)新会社設立

6

Copyright ©2012 AEON DELIGHT Co., Ltd. All Rights Reserved.



AEON delight



連結貸借対照表

単位:百万円

	2013年 2月28日	2012年 2月29日	増減額		2013年 2月28日	2012年 2月29日	増減額
流動資産	79,323	72,486	6,836	流動負債	34,955	33,643	1,312
固定資産	21,375	20,322	1,052	固定負債	1,195	983	212
有形固定資産	3,796	3,773	22	負債合計	36,151	34,626	1,525
無形固定資産	12,321	12,272	49				
投資等	5,257	4,276	980	純資産合計	64,547	58,182	6,364
資産合計	100,699	92,809	7,889	負債・純資産合計	100,699	92,809	7,889

7

Copyright ©2012 ÆON DELIGHT Co., Ltd. All Rights Reserved.



連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

単位:百万円

	2013年2月期	2012年2月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	▲4,358	9,639
投資活動によるキャッシュ・フロー	7,086	▲10,051
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲2,257	▲2,722
現金及び現金同等物の増減額	497	▲3,137
現金及び現金同等物の期首残高	9,179	12,317
現金及び現金同等物の期末残高	9,676	9,179

営業活動CF	
税引前当期純利益	13,920
売上債権	▲12,612
仕入債務	▲1,116

投資活動CF	
関係会社消費寄託金の寄託と返還	9,500

財務活動CF	
配当金支払	▲2,256

●営業CFのマイナスはLED工事に伴う売上債権の増加の影響

8

Copyright ©2012 ÆON DELIGHT Co., Ltd. All Rights Reserved.



目次

§ 1 2013年度 業績報告

§ 2 2014年2月期 主な取り組み

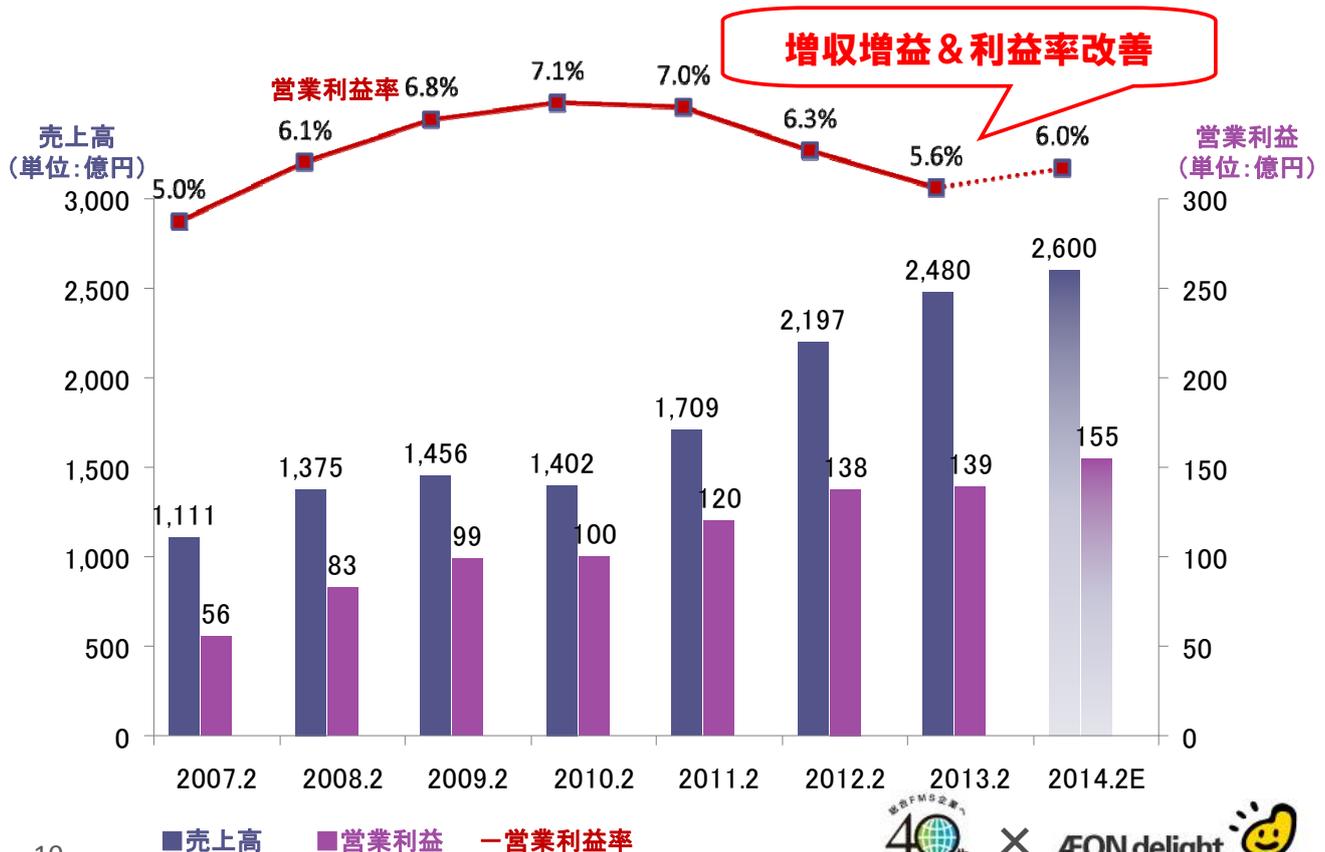
§ 3 参考資料

9

Copyright ©2012 ÆON DELIGHT Co., Ltd. All Rights Reserved.



過去からの業績推移(売上高・営業利益・営業利益率)



10

Copyright ©2012 ÆON DELIGHT Co., Ltd. All Rights Reserved.



事業を取り巻く環境の変化

新たなサービスの登場による市場の変化

⇒ 競争優位性を発揮し、収益を向上させるため
各事業の構造改革を推進

環境負荷低減に対する意識の高まりと 事業機会の拡大

⇒ 現場で培われたナレッジ・ノウハウを生かし、
国内外で**省エネビジネス**を拡大

11

Copyright ©2012 AEON DELIGHT Co., Ltd. All Rights Reserved.



2014年2月期の主な取り組み

- (1) 原価低減への取り組み
- (2) 事業の構造改革に向けた取り組み
 1. エリア管理の導入
 2. 商材の開発 ～清掃事業の取り組み～
- (3) IT化、業務改革の推進
- (4) 省エネビジネスの拡大
 1. 国内での省エネ展開
 2. アジアでの省エネ展開
- (5) アジアでの市場創造

12

Copyright ©2012 AEON DELIGHT Co., Ltd. All Rights Reserved.



(1) 原価低減への取り組み

原価低減額 **12億円**

(施策例)

清掃事業

- ・直営物件の原価改善、協力会社のネットワーク再構築

資材関連事業

- ・資材の集約・海外調達への推進、物流コストの削減

自販機事業

- ・オペレーションの見直し

13

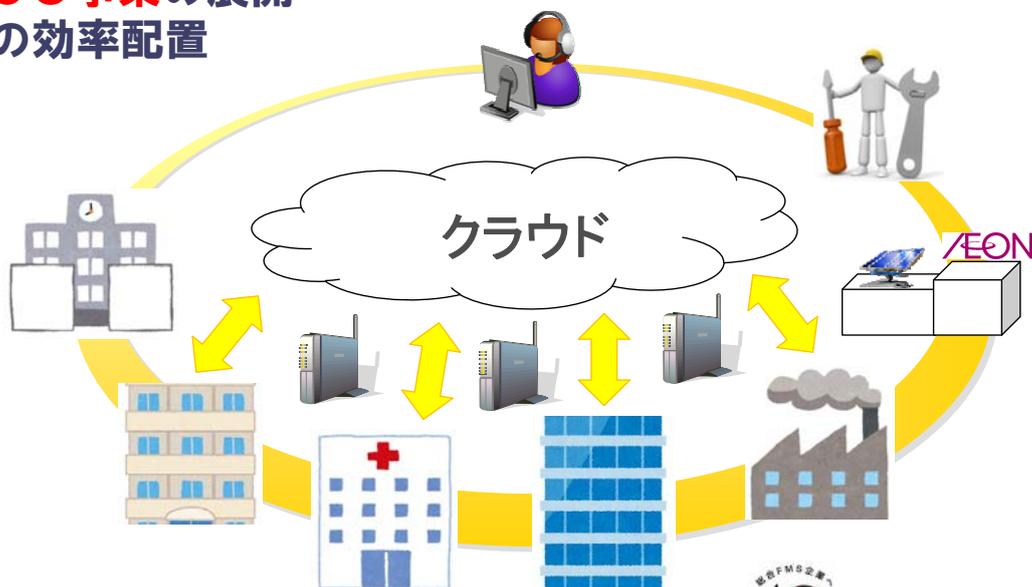
Copyright ©2012 Aeon Delight Co., Ltd. All Rights Reserved.



(2)-1 エリア管理の導入

常駐管理(個別管理)から遠隔監視(エリア管理)へ

BEMS機器の導入
食品設備の一元管理 → **省エネ、管理コスト削減を実現**
ESCO事業の展開
人財の効率配置



14

Copyright ©2012 Aeon Delight Co., Ltd. All Rights Reserved.



(2)-2 商材の開発

川下から川上へ ～環境商材の開発～

① イオンディライトコート

- ・従来の樹脂ワックスに変わる水性コーティング剤
- ・有機溶剤を使用せず高光沢、剥離不要を実現
- ・ADハードコート(開発中)はバフ作業が不要

500物件 売上高2.5億円



② トイレ革命

- ・循環式節水型樹脂製小便器 ・製造時のCO2削減
- ・排水時の水を約**90%節水**

シミュレーション(1日使用人数500人の駅の場合)

水道料金 年間約160,000円の削減

※上下水道550円/1000ℓで試算

1500台 売上高1.8億円



15

Copyright ©2012 AEON DELIGHT Co., Ltd. All Rights Reserved.



×

AEON delight



(3) IT化、業務改革の推進

① 間接部門業務を標準化し、(株)GSIへBPO

➡ 利益貢献目標 年間**1億円**



② IT化で事務所が不要「どこでもオフィス」化を加速

➡ 前期、1日の平均顧客面談時間を 2.6h → 4.0h

今期、営業部員の**業務効率化を徹底**

③ 新たなワークフローによる「現場事務作業軽減」

➡ 総合FMS提案の増加
CS向上により、解約率を改善



16

Copyright ©2012 AEON DELIGHT Co., Ltd. All Rights Reserved.



×

AEON delight



(4)-1 国内での省エネ展開

省エネビジネスの拡大

再生可能エネルギーの普及、拡大
国の政策や社会の要請に寄与

① BEMS導入 売上高**20億円**

② 太陽光発電システムによる売電



静岡県菊川市の遊休地を利用した
売電事業に参画

・SPC(特別目的会社)に共同出資
➡ **配当+周辺業務の受託**により収益拡大

17

Copyright ©2012 AEON DELIGHT Co., Ltd. All Rights Reserved.



(4)-2 アジアでの省エネ展開

省エネビジネスの拡大

中国・アセアンで**ESCO事業**を拡大

中国では、現在1店舗から**5店舗**への導入を計画

(将来的には全店舗導入へ)



ESCO事業を導入したイオン順徳SC(中国)

イオン順徳SCでは、2012年10月より
ESCO事業を開始。年間**10%以上**の
電気料金+CO2排出量削減をコミット

➡ **キャッシュフローの改善に貢献**

18

Copyright ©2012 AEON DELIGHT Co., Ltd. All Rights Reserved.



(5) アジアでの市場創造

① 中国 建物勃興によりビジネス機会が拡大

- ・ 受託件数 **87** 物件 (イオングループ外 **57** 物件) (2013年2月末現在)
- ・ 地元有力企業との合併によるエリア戦略を加速 (新たに**山東省、湖北省、浙江省**への展開を計画)

② アセアン 成長性の高いエリアで市場を創造

- ・ **マレーシア、ベトナム**で本格始動
- ・ **タイ**で現地法人の設立を目指す

③ グローカル営業の推進

- ・ 国内営業部隊との連携強化により、**日系企業**を取り込む

19

Copyright ©2012 AEON DELIGHT Co., Ltd. All Rights Reserved.



×

AEON delight



2014年2月期の業績見通し

単位:百万円

	2014年2月期通期予想			2013年2月期実績	
	金額	売上比 (%)	前年比 (%)	金額 (実績)	売上比 (%)
売上高	260,000	100.0	104.5	248,876	100.0
営業利益	15,500	6.0	111.5	13,901	5.6
経常利益	15,500	6.0	111.6	13,892	5.6
当期純利益	8,300	3.2	110.5	7,509	3.0

売上総利益率1ポイント以上回復



×

AEON delight



20

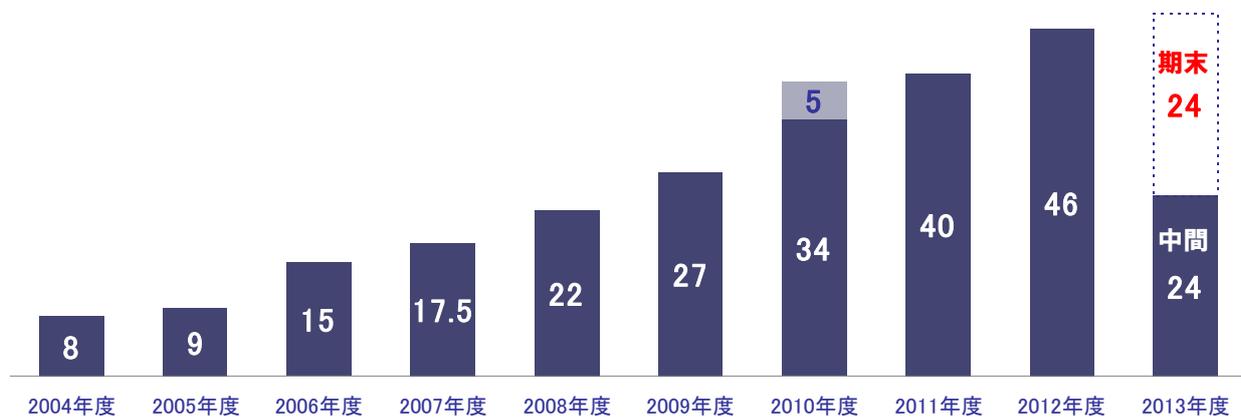
Copyright ©2012 AEON DELIGHT Co., Ltd. All Rights Reserved.

株主還元

2005年度以降**9期連続**の増配を目指します

	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
配当額	8.0円	9.0円	15.0円	17.5円	22.0円	27.0円	39.0円	40.0円	46.0円	48円

■ 配当金 ■ 記念配当 ○ 配当予想



※当社は2007年12月1日付で1株につき2株の株式分割を行っております。2004年度期首に当該株式分割が行われたと仮定した場合の配当金額です。

※2010年度の期末配当には、記念配当5.00円を含んでおります。

21

Copyright ©2012 ÆON DELIGHT Co., Ltd. All Rights Reserved.



目次

§ 1 2013年度 業績報告

§ 2 2014年2月期 主な取り組み

§ 3 参考資料

22

Copyright ©2012 ÆON DELIGHT Co., Ltd. All Rights Reserved.



損益推移

単位:百万円

	2003年度		2004年度		2005年度		2006年度		2007年度	
	実績	前年比 (%)	実績	前年比 (%)	実績	前年比 (%)	実績	前年比 (%)	実績	前年比 (%)
売上高	55,749	99.3	54,665	98.1	62,323	114.0	111,170	178.4	137,519	123.7
営業利益	1,686	79.7	2,504	148.5	2,949	117.8	5,576	189.0	8,330	149.4
経常利益	1,697	80.5	2,511	147.9	2,953	117.6	5,485	185.7	8,186	149.2
当期純利益	148	13.1	860	580.6	1,324	153.8	2,998	226.4	4,379	146.1

単位:百万円

	2008年度		2009年度		2010年度		2011年度		2012年度	
	実績	前年比 (%)								
売上高	145,690	105.9	140,299	96.3	170,905	121.8	219,797	128.6	248,876	113.2
営業利益	9,946	119.4	9,970	100.2	12,031	120.7	13,762	114.4	13,901	101.0
経常利益	9,812	119.9	9,912	101.0	12,089	122.0	13,784	114.0	13,892	100.8
当期純利益	4,876	111.3	5,466	112.1	6,495	118.8	6,912	106.4	7,509	108.6



AEON delight



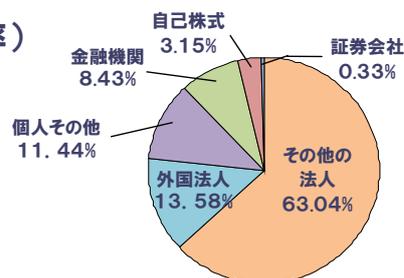
大株主の状況および所有者区分(比率)

大株主の状況 所有比率は発行済株式に対する比率です。株式数は千株未満を切り捨て、比率は小数第3位を四捨五入しております。

順位	株主名	所有株式数(千株)	所有比率(%)
1	イオンリテール株式会社	23,261	42.94
2	イオン株式会社	9,103	16.81
3	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,034	1.91
4	イオンディライト取引先持株会	722	1.33
5	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	710	1.31
6	ザ バンク オブ ニューヨーク トリーティー ジャスデツク アカウト	688	1.27
7	イオンディライト従業員持株会	672	1.24
8	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	623	1.15
9	ノーザントラスト カンパニー(エイブイエフシー)サブ アカウト プリテイツシユクライアント	592	1.09
10	ジェービーモルガンチエース ユーエス ペンション トリーティ ジャスデツク	575	1.06

データは2013年2月28日現在

所有者区分(比率)



AEON delight



経営指標

	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
EPS(一株当り当期純利益)	137.79円	142.56円	131.81円	143.15円
ROE(自己資本当期純利益率)	18.91%	15.47%	12.55%	12.46%
ROA(総資産当期純利益率)	11.19%	9.75%	7.79%	7.76%
売上高経常利益率	7.06%	7.07%	6.27%	5.58%
売上高純利益率	3.90%	3.80%	3.15%	3.02%
総資本回転率	2.87回	2.56回	2.48回	2.57回
自己資本比率	64.22%	62.32%	61.92%	62.64%
1株当たり純資産	787.84円	1,005.62円	1,095.59円	1,202.42円
PER(株価収益率)	8.83倍	10.57倍	11.62倍	11.46倍
PBR(純資産倍率)	1.54倍	1.50倍	1.40倍	1.36倍
(ご参考)期末株価	1,216円	1,507円	1,532円	1,641円

※数値は小数第3位を四捨五入しております。

25

Copyright ©2012 AEON DELIGHT Co., Ltd. All Rights Reserved.



AEON delight



**本日は、ご清聴頂きまして誠にありがとうございました。
ご意見・ご質問につきましては、下記にお願いいたします。**

■この資料には、イオンディライトの将来についての計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれています。

◇これらの記述は、過去の事実だけでなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した想定にもとづく見込みです。そのため、実際の業績は見込みとは異なる可能性がありますので、ご承知置きください。

■資料中、特に注記がない場合を除き下記の方法により記載しております。

- ◇全て連結を対象として記載
- ◇記載金額は百万円未満を切り捨て
- ◇比率は小数点第2位を四捨五入

**イオンディライト株式会社
(証券コード:9787)**

IR担当連絡先

部署名:コーポレートコミュニケーション本部

責任者名: 高橋(タカハシ)

TEL 06-6260-5632

FAX 06-6260-5653

又は、ホームページよりお問い合わせください。

<http://www.aeondelight.co.jp>

※FAX送信される方は、お名前とご返答用連絡先を必ずご記入ください。

本日、ご説明した内容につきましては発表日当日(2013年2月28日)に入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な要因により業績予測につきましては、変更する場合がございます。

26